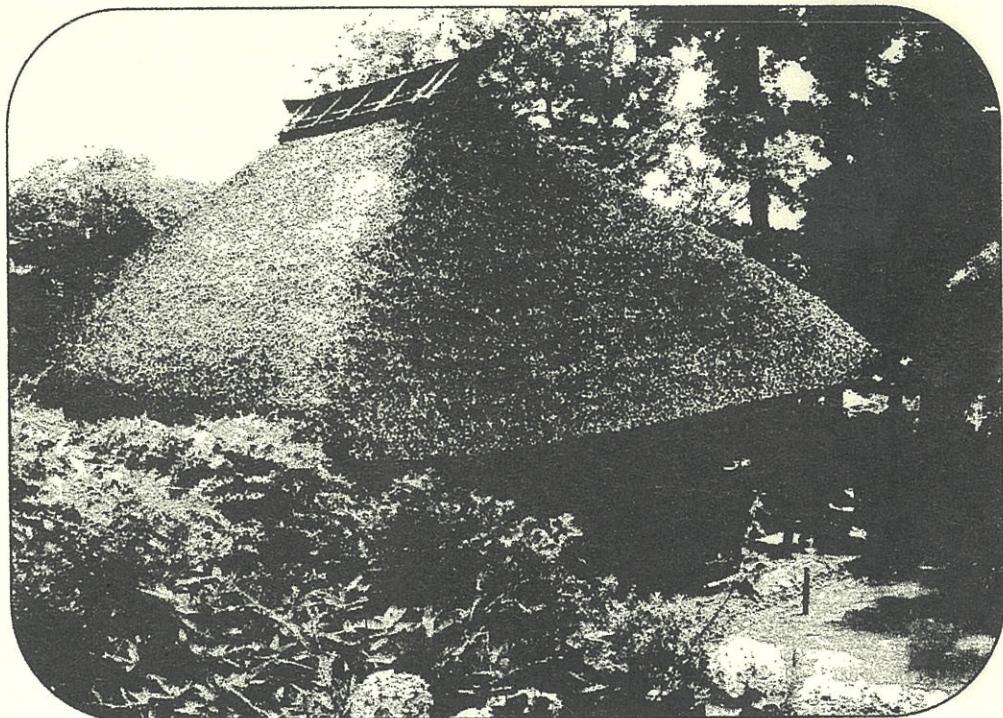


飯山市民劇団「土」第44回定期公演

第37回県演劇祭参加作品 「奥信濃晩鐘」

飯山市民劇団「土」は結成以来地域に根ざした演劇活動を続けています。臨済宗中興の祖「白隱」250回忌にあたる今年、白隱の師「正受老人」を描いた「奥信濃晩鐘」を上演します。混迷する今、飯山の名僧「正受老人」の生き方にふれてみませんか。ぜひご観劇ください。

とき 2017(平成29)年11月12日 午後2時から
ところ 飯山市文化交流館 なちゅら 入場無料



～～あらすじ～～

真田信幸の子と伝えられる正受慧端、元禄四年(1691)無難禪師の死後、飯山の城下上倉の
小畠山という丘の上にある正受庵で母李雪と暮らしている。

そこでの様々なふれあいを通して「正受老人」の姿を芝居にしました。もちろん有名な「慧鶴
(後の白隱)蹴落とし」の場面もあります。侯ご期待。